

SDGs…私たちにできること 第2弾

買う時は
産地名を
確認して
地元食材を
積極的に
選ぶ



SDGs
2030年の
目標達成に
向けて

私たちに
できること
10項目です

買う時は
可能な限り
期限が
早く来る
商品を選
ぶ



買う時は
公的な認証マークが
ついている商品
を選ぶ



市民の
皆さんと
一緒に
実践
しましょう！

食品ロスを
減らすよう心がける

使わない
で廃棄や
食べ残し
などを減らす



冷凍食品や冷凍した
肉・魚・野菜などを
上手に
使って
食品ロス
対策




資源回収の
ビン・
缶・プラは
洗って
出す



生ごみは水けを
よく切ってから
廃棄

初めから
ぬらさない
工夫も大切




未来の
子どもたちの
ために



再配達への削減に努力

宅配ロッカー
や置き配
などを
活用



短い距離なら
徒歩移動

長距離で
自動車を
運転する時は
急発進や急停車をしない



持続可能な
社会を
作りま
しょう！

SDGsを
実施して
いる団体
などに
寄付



八王子市消費生活啓発推進委員会

SDGsやエシカル消費を实践して、持続可能な社会を作っていきます！と声をかけあっていますが、具体的に何をしたら良いのかと、委員会で話し合いました。その中で、第2弾では左記の10項目を、市民の皆さんと実践したいと考えて提案しました。

第2弾の項目の分布は：

- (1) 買う時、気に掛けること 3項目
- (2) 食品ロスを減らす工夫 2項目
- (3) 資源回収の心構え 1項目
- (4) 生ごみ対策の工夫 1項目
- (5) 宅配物再配達の防止 1項目
- (6) CO2削減の工夫 1項目
- (7) 頑張っている団体を応援 1項目

：以上7種類10項目です。

これをきっかけで始めるという方や、すでに実践しているという方様々でした。



1. SDGsについてあなたは？(○をつけてください)

- i. とても関心がある ii. ある程度関心がある iii. あまり関心がない iv. よくわからない

アンケートに協力
いただきました

2. 下記の項目について、はい・いいえ を○でチェックしてください

	項目	やっていますか？	
1	買う時は産地名を確認して地元食材を積極的に選ぶ	はい	いいえ
2	買う時は可能な限り期限が早く来る商品を選ぶ(てまえどりの励行)	はい	いいえ
3	買う時は公的な認証マークがついている商品を選ぶ(別紙参照)	はい	いいえ
4	食品ロスを減らすように心がける 使わないで廃棄や食べ残しなどを減らす	はい	いいえ
5	冷凍食品や冷凍した肉・魚・野菜などを上手にを使って食品ロス対策	はい	いいえ
6	資源回収のビン・缶・プラは洗って出す	はい	いいえ
7	生ごみは水けをよく切ってから廃棄 初めからぬらさない工夫も大切	はい	いいえ
8	再配達への削減に努力 宅配ロッカーや置き配などを活用	はい	いいえ
9	短い距離なら徒歩移動 長距離で自動車を運転するときは急発進や急停車をしない	はい	いいえ
10	SDGsを実施している団体などに寄付	はい	いいえ

このようなアンケート項目で、市民の方々の実践の度合いを調査しました。

左表が主な設問内容です。

WEBでのアンケート回答は98件、紙面での回答は70件が集まりました。

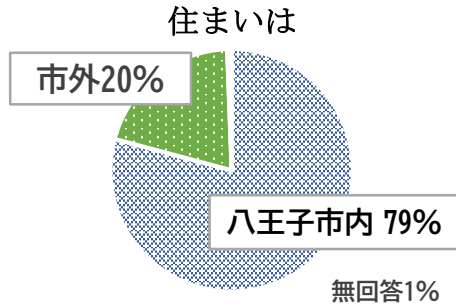
ご協力ありがとうございました。

■アンケート集計の概要

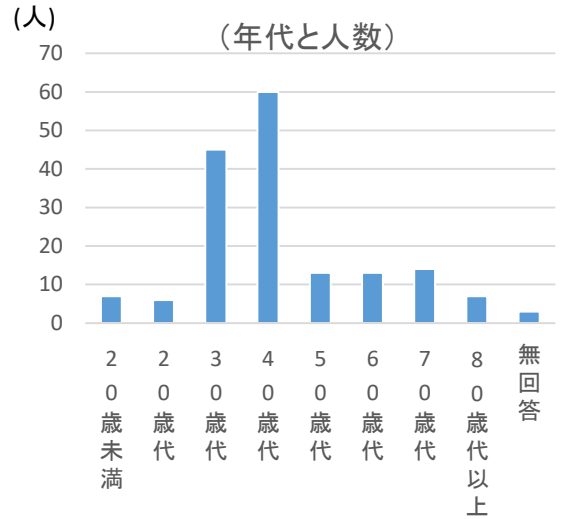
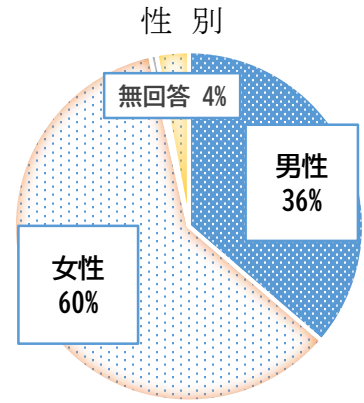
アンケートに应运てくださった来場者の方々から見てきたことです。

会場が東京たま未来メッセに変わって2年目ということで広く知られてきたせいでしょうか、2024年は2018年に比べて市外の方が増加しました。同様に性別でも、男性の方の比率が増えました。

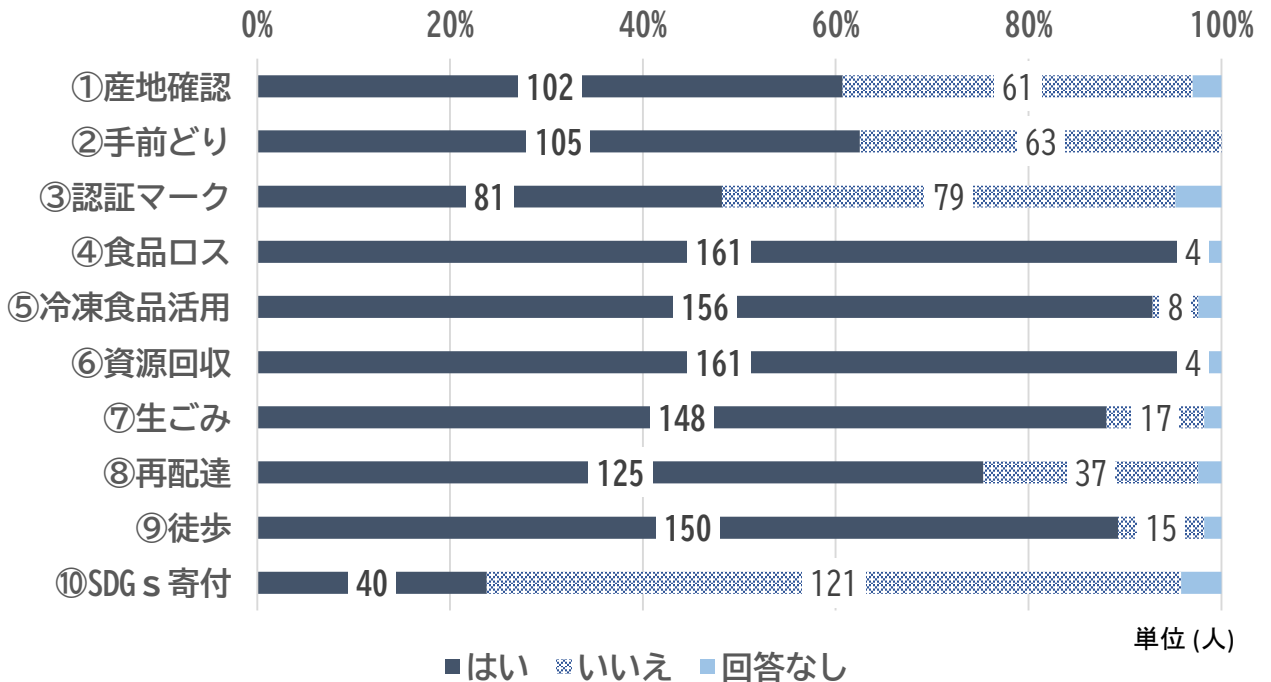
年代では、輪投げやすごろくの企画のせいから30代から40代の来場者が大きく増えました。引き換え、50代と70代の方の数が減りました。



また「1. SDGsに関心がありますか」の質問については、ほとんどの方が関心がある、ある程度関心があると答えていました。



■各設問項目についての来場者の実施状況は？



食品ロス、冷凍食品活用、資源回収、生ごみの水切りは多くの方が実践していました。地産地消への取り組みは、約6割の方が意識していることが判りました。

■八王子環境フェスティバルを終えて；

以下当日参加委員たちからの一言です。

♧クマの輪投げ・八王子すぐろくの催しで、SDGsや地産地消について楽しく考えてもらえました。小さいお子さんから年配の方まで賑やかに盛り上がりました。(s)

♧クマの輪投げを担当、親子で楽しんでくださいました。若いパパが一人で子ども2人連れて楽しんでいる姿にも出会い、イクメンパパが増えている昨今に気づきました。(m)

♧アンケートの手応えは、1年前とは、たいへん変わった様に思いました。去年はスマホでQRコードを読み取ってくださいと言うとキョトン。今年は、紙の節約ですと言うとそうですねと！世の中進みました。(i)



皆さん当日の来場ありがとうございました！



イベント報告

- 3/9(土) 防犯防災フェア JR八王子駅南口とちのき広場に出展しました。消費生活センターと一緒に安全・安心な消費生活について市民と対話しました。
- 3/10(日) 地域デビューパーティ 八王子市学園都市センター12階に出展しました。
- 5/25(土) TOKYOエシカルマルシェを視察 国際展示場前のシンボルプロムナード公園

<編集後記>

- ・全天候型の東京たま未来メッセは、お客様にとっても私たちにとっても安心感があります。大勢のお客様が見えましたが、家族づれの子育て世代の皆さんが多いように感じました。親子で楽しく遊べる場を提供することも環境フェスティバルの役割の一つかと思います。(A)
- ・2030年SDGsの目標達成に向け、私たちができることを考えて提案しました。すでに実践している市民の方々が多かったのは嬉しかったです。更に提案できる項目を考えて、広げていきたいと思っています。(k)

編集発行：八王子市消費生活センター・同消費生活啓発推進委員会

〒192-0082 八王子市東町5-6 クリエイトホール 地下1階

☎042-631-5456

FAX: 042-643-0025

*くらしのレポートにつきご質問・ご意見がありましたら、どうぞお寄せください。



八王子市消費生活
啓発推進委員会HP